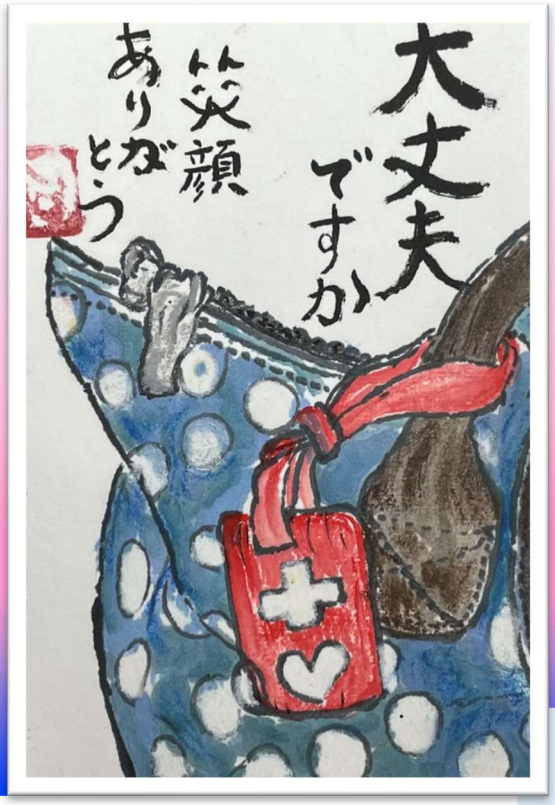
2025 年 4 月発行号

福山市障がい者総合支援協議会 つうしん

Vol.13

福山市障がい者総合支援協議会は、
*「障がいのある人が普通に暮らせる地域づくり」*をめざしています！



2023 年度 障がい者週間 受賞作品　優秀賞 岩川 純江 さん
『笑顔ありがとう』

障がい者総合支援協議会は、保健・医療・福祉・教育・就労など多分野多職種の関係者が集まり、障がいのある人の地域生活における課題等を共有し、その解決に向けて取組みを進めています。

2025 年度を迎えて

運営会議　議長　林（はやし）　誠（まこと）　さん

昨年度に引き続き、今年度も、障がいのある人の声を聞き、当事者さんの思いや願いを知ることで、課題を明らかにしていきたいと思います。そのための研修の開催や、専門部会から意見を集約して、情報の共有化を図りながら、障がいのある人への支援が、権利擁護を根底においた意思決定支援となるよう、取り組んでいきたいと思います。皆様には、障がいのある人の困難な実情や、支援者様にはご意見を事務局までお寄せくださいますようお願い申し上げます。

（社会福祉法人 白鷺（しらさぎ） 理事長）

2025 年 4 月発行号

2024 年度

第２回 研修会・ネットワーク会議を開催しました！！

研修会

近年、教育現場では「教室マルトリートメント」(川上康則著)が話題になっています。教員が無自覚に行っている児童・生徒への対応の中に、マルトリートメント(不適切なかかわり)に当てはまると問題提起をした内容です。教員に「余白」がなくなり、焦りや不安が募ると「自分の感情は正しい」「自分の指導は間違っていない」と正当化し、不適切な指導に結び付くことや、「職員室を安心できる場所」にするために「子ども、保護者、同僚の悪口陰口を言わない」「意見が言いやすい」「子どもの良いところが話題になる」ことを心がけることが大切であることなど、これらの「子どもを傷つけない教室づくり」の考え方や実践は、学校だけでなく障がい福祉に携わる人たちにとっても大切なことです。

総合支援協議会として一緒に考えました。

テーマ：「子どもたちを傷つけない集団づくり」を障がいのある人の支援にも生かそう！！

日　時：2025 年 3 月 8 日(土)13 時 20 分～15 時

場　所：福山すこやかセンター1 階　多目的ホール

講　師：堤（つつみ）　信之（のぶゆき）さん（広島市立小学校　校長）

感想

「補い合うのがチーム」最後に響きました！

教育現場と障がい者のあらゆる場面は良く似ていると感じます。

教育現場だけでなく、福祉の支援の現場にも活かせるお話しでした。

自分でも気が付かない内に「毒語」を発言していたのではないかと「ハッ！」とさせられました。

自分の普段言っている言葉を思い浮かべながら講演を聞かせていただきました。

気付いたことを言い合うスタイルが良かった！「人は違う」を受入れることの難しさは、自分の中での一生の課題だと思います。

ネットワーク会議

研修会終了後に開催し、障がい者総合支援協議会の**各専門部会の活動や今後の取組みについて報告を行いました。**

2025 年度を迎えて

（サポートセンターゆいねっと
管理者）

相談支援部会　部会長　山田（やまだ）　大史（ひろちか） さん

先日、２２年前に発行した私の事業所の通信（創刊号）を目にすることがありました。その中には、親亡き後のための宿泊体験や緊急時対応等の必要性が書かれていました。当時と比べると、今は様々な障がい福祉の事業が増えていますが、今まさに地域生活支援拠点で親亡き後や緊急時対応が求められています。次の１０年、２０年で同じことが課題として残っていないように、２０２５年を丁寧に進めていきたいと思います。よろしくお願いします。

発達支援部会　部会長　長谷川（はせがわ）　貴一（たかかず） さん

子ども家庭庁が発足し、２年が経ちました。障がいのあるなしにかかわらず、さまざまな立場の子どもたちが、自分らしさを発揮し、のびのびと、健やかに、育っていくことが掲げられています。部会においても、子どもたちの立場にたって、声を聞き、思いや状況を知り、何ができるのかを、考え、具体的な取り組みへとつなげて行きたいと思います。

（社会福祉法人こぶしの村福祉会
草笛学園　園長）

（社会福祉法人「ゼノ」少年牧場
ゆめの木・わかば　施設長）

就労支援部会　部会長　山根（やまね）　慎太郎（しんたろう） さん

私達は、当事者の想いを大切にする事を基軸に…当事者にとって働くための入り口支援として「就労アセスメント様式」を作成し、次にその様式をもとに当事者自身が働く事を体験する場を実現するためにどの様な仕組みがあればよいかを協議しています。

この仕組みが出来上がれば、当事者も雇用する側にとっても双方が、お互いの事を理解し、働きやすい状態でスタートを切る事が出来ると考え、実現に向け頑張って参ります。

地域生活支援部会　部会長　下田（しもだ）　知宣（とものぶ） さん

昨年度部会ではグループワークを通じて、一人でも多くの地域住民の方が障がいについて知ることが大切であり、そのためには情報発信が必要と感じました。

今年度は情報をどのように伝えていくかや福祉関係以外の分野の方とどのように連携を作っていくかを協議していき、できることから取り組みたいと思います。

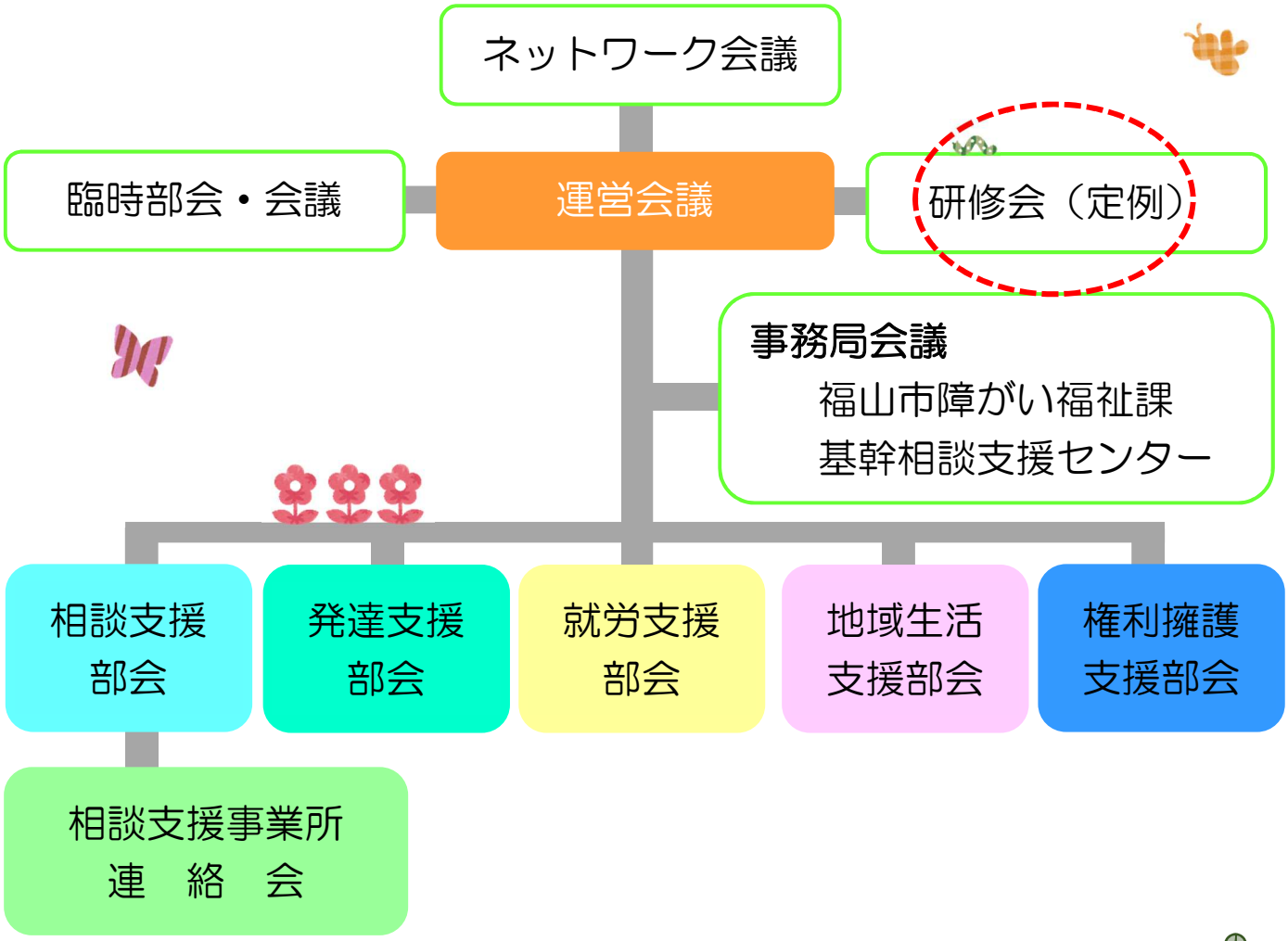
（医療法人社団緑誠会
地域生活支援センターひだまり）

（福山市身体障害者団体連合会
事務局長）

権利擁護支援部会　部会長　根本（ねもと）　敏太郎（としたろう） さん

昨年４月より、障がい者に対する「合理的配慮」が民間事業者にも義務付けられましたが、未だ皆さんに十分理解が得られているとは言えません。自分の意見を発信出来る、他の方から「見える障がい」は、少し理解が進んだような場面も有りますが、自分の意見が発信出来ない、他の方からは「見えない障がい」については、理解が進んでいないと感じています。令和７年度では、物質的なバリアフリーだけでなく、「心のバリアフリー」にも取り組み、誰もが安心して暮らせる「福山市」にしていかなければならないと考えています。

福山市障がい者総合支援協議会　組織図



障がいのある人やその家族、福山市で暮らす皆さまにご利用していただけるように
各種の冊子やガイドを作成しています。

ぜひ一度ご覧ください！！

各種冊子や「つうしん」を掲載中♪

https://www.f-shakyo.net/syogaisyashien/
（福山市障がい者総合支援協議会ホームページ）

福山市障がい者総合支援協議会

質問・ご意見等ありましたら、お気軽にご連絡ください

〈発　行〉福山市障がい者総合支援協議会
〈事務局〉福山市障がい者基幹相談支援センター(クローバー)
住　所：福山市三吉町南二丁目１１－２２　福山すこやかセンター内
ＴＥＬ：(084) 973-0968　　ＦＡＸ：(084) 926-7111
Ｍａｉｌ：f-shakyo-kikansoudan@apricot.ocn.ne.jp